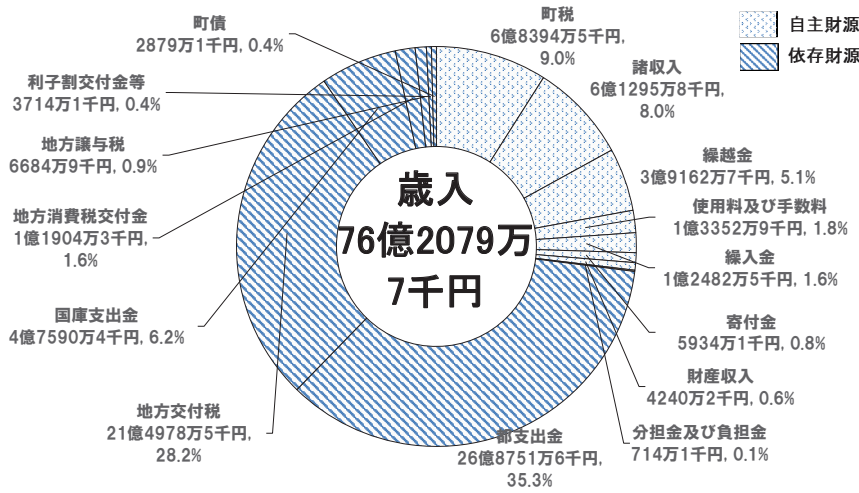


令和4年度決算が認定されました

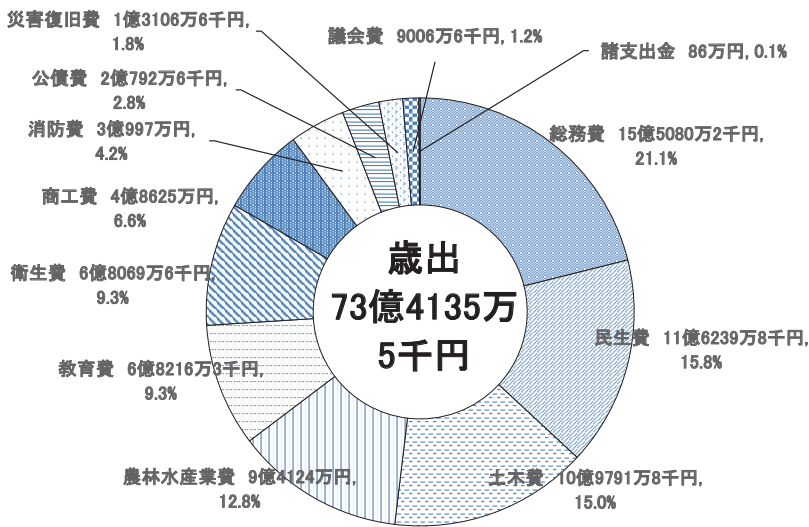
令和4年度決算が9月開催の町議会定例会で認定されましたので、主な内容をお知らせします。

【一般会計】 令和4年度の一般会計決算額は、歳入が76億2079万7千円、歳出が73億4135万5千円で、収支差引額は2億7944万2千円、翌年度繰越財源2818万円を除いた実質収支額は2億5126万2千円となりました。前年度に比べて、歳入額は1.5%の増、歳出額は3.2%の増となりました。

【令和4年度一般会計決算額および構成比】



【歳入】 新型コロナウイルス感染症対策への交付金の減などにより国庫支出金が大きく減となりましたが、依存財源合計は55億6千5百万円、歳入全体の73%に達しました。対して、自主財源で最も大きい町税は、前年度から1千7百万円の増となりました。例年、町の歳入に占める自主財源の割合は、全国と同規模町村と比べても低い値となっています。



【歳出】 令和元年台風第19号の被害による災害復旧費が前年度比1億6千万円の減となりましたが、前年度繰越金増に伴う基金積立金など各種基金への積み立てを行ったことや地上権設定の町有地を民間企業に貸し出すことに伴う立木補償及び釣場施設の改修を行ったことなどにより、歳出総額では、前年度と比較して2億2千6百万円の増となり、4年連続で70億円を超える歳出となりました。

決算状況①

【町税収入の推移】

